

2022年7月13日

各位

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

**HMT、九州大学と共同研究を開始
メンタルヘルス不調による休職・復職支援のための
精神状態評価指標の社会実証を目指す**

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社（本社：山形県鶴岡市、代表取締役社長：橋爪 克仁、以下、HMT）は、国立大学法人九州大学（福岡県福岡市西区、総長：石橋 達朗、以下、九州大学）と、『働く人の心の健康を維持するための仕組みづくり ～うつ/うつ症状の予防～ 復職支援等～』への取り組みにおいて、共同研究契約を締結しましたので、お知らせします。

1. 取り組みの背景および内容

時代の移り変わりとともに変化する人々の価値観や、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大に伴い、働く人の環境は大きく変化していますが、個人としてのメンタルヘルスケア、働く組織におけるメンタルヘルスケアなどをどのように行うか、これまで以上に重視されるようになってきています。

九州大学は2013年より九州大学病院に気分障害ひきこもり外来を立ち上げ、生物・心理・社会的な理解に基づく精神疾患の治療法開発をすすめています。うつ病の早期発見／早期対応が遅れることが社会的ひきこもりのリスクになる可能性を国際的に提唱し、ひきこもり研究ラボ@九大を拠点として、国内外の医療研究機関と連携し、うつ病やひきこもりの新しい評価ツールを開発し、当該評価ツールを活用した支援法開発に向けた取り組みをすすめています。今般、HMTと連携し、九州大学が進める企業健診などにおける共同事業実証（以下、POC）の構築に取り組みます。

HMTは、九州大学が開発したバイオマーカーと自社のうつ病バイオマーカーをはじめとする複数のバイオマーカーを組み合わせたマルチマーカーを用いてPOCを行い、休職期間中の抑うつ状態のモニタリングから復職の判断補助となる評価指標を開発し、リワークプログラムを中心とした復職支援等に寄与する高付加価値検査サービスの展開を目指します。

2. 今後の展開について

両者の連携により、職場における高ストレス者のモニタリングや、うつ病などのメンタルヘルス不調による休職者のスムーズな職場復帰支援まで、様々な段階でのメンタルヘルス評価が可能となる精神状態評価モデルの開発を進めてまいります。今回の連携を通して、働きやすい社会環境を構築し、働く人のQOL（Quality of Life）の向上に寄与することを目指してまいります。

なお、本件による当社業績に与える影響は軽微です。

○各機関の概要

【国立大学法人 九州大学 概要】

所在地： 福岡県福岡市元岡 7 4 4
代表者： 総長 石橋 達朗
URL <https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/>

【ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 会社概要】

本社所在地： 山形県鶴岡市覚岸寺字水上 246 番地 2
代表者： 代表取締役社長 橋爪克仁
証券コード： 6090（東証グロース）
事業内容： 先端研究開発支援事業(メタボローム解析試験の受託)
ヘルスケア・ソリューション事業(バイオマーカーの探索および自社バイオマーカーの事業化等を通じたヘルスケア研究開発支援)
URL <https://humanmetabolome.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

国立大学法人 九州大学

九州大学 大学院医学研究院 精神病態医学分野
准教授 加藤 隆弘
(九州大学病院気分障害ひきこもり外来)
TEL : 092-642-4521
Email : kato.takahiro.015@m.kyushu-u.ac.jp

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

事業統括本部 プロジェクト推進
TEL : 03-3551-2180 FAX : 03-3551-2181
E-mail : invre1@humanmetabolome.com

以上